

下記は、松田学氏の友人の あるお医者さんのご意見です。

テレビや新聞では、PCR 検査での陽性者を感染者と言い換え、ある理由から、感染者数が増えた増えたと、多くの国民を怖がらせる方向の報道がほとんどです。無症状者の数など、一切報じません。

免疫の有無を重視される もしくは 下記のような意見をお持ちのお医者さんも数多くいらっしゃいますが、ほとんど報じられません。現在の状況をご自分で判断される一助として、ここに紹介します。各自でご判断下さい。

「第三波」？・・・東大医学部卒某国立大学臨床内科名医A氏のコメント

- 第2波でも第3波でもなく、冬に少し流行る土着のコロナが少し今の波に寄与しているかもしれませんが、今、世間が2～3波と言っているのはPCRの検出数だけで感染者数ではない。何よりの証拠は、死亡者数にそんな波はない
・・・当病院なんて「あっけらか一ん」と診療していて外来患者数もほぼ元に戻っています。
- 専門●力会議が第1の戦犯で、最近では日本医師会長や都の医師会長のビビリ発言が収束を阻んでいます。緊急事態宣言を解除する際にちゃんと「すまん、やり過ぎた、もう心配するな」とカミングアウトして解除すれば良かった。
- PCR検査の母数が増えているので陽性者数が多い。
また、PCRは誤反応が多く、土着亜種コロナに陽性反応しているに過ぎない。
冬になれば風邪（←コロナ）が増えるのは当たり前。
- （重症者が増え始めているといっても、厚労省の6月のお達しで、PCR陽性反応の人は重症化の原因や死因を問わず、新型コロナウイルスの重症者、死亡者としてカウントしている）
→別の病気で亡くなる方でも、鼻の穴に1匹ウイルスがついているだけでPCR検査ではコロナ感染者扱いされますので、「主死因は他疾患だがコロナ死者と発表される」は一定の割合で存在します。
- 「PCR（という本来用途が別の手段）の誤用したのが全ての間違い」という事です。
極めて鋭敏ですが、似た物（昔から種々の変異株が土着で存在している）を引っかけます。